

2026年度重点プロジェクトにおける取組のイメージ図

2026年度重点プロジェクトテーマ

楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて ～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～

①意欲ある人の創出

アプローチ：人づくりの支援により課題解決を図る

愛知大学と東三河県庁の連携講座など

東三河の課題を共有する
東三河県庁、大学

- ▶ 当事者意識を高める（我がこと化）
- ▶ 人材を掘り起こす（潜在人材の発掘）
- ▶ 橋渡しをする（適材適所）



チャレンジする人材への支援
県、市町村、商工会議所・商工会、大学、J A、研究機関 など

人材支援情報のウェブページ作成など

地域課題

地域や空き家所有者への意識啓発など

空き家の活用
KPIの候補：空き家の利活用数

就農相談会と就農者の住まい斡旋など

「運転体験会&会社説明会」や外国人向け「バス運転手説明会」の開催など

地域交通の確保
KPIの候補：運転手の就業者数

事業の連携

農林水産業の振興
KPIの候補：就農者数

農業法人やスタートアップと東三河の企業・農家とのマッチングなど

②人に代わる力の導入や合理化

アプローチ：デジタルとリアルの融合により時間や場所の制約を克服する

デジタルテクノロジーの活用促進や啓発など

【リアルインフラ】
人や物が現実に動く
生産性の向上
・道路の整備
・交通手段の充実
・港湾の整備 など

【デジタルテクノロジー】
デジタルの徹底活用
リアル空間の質的向上
・情報通信基盤の整備
・生成Aiの普及啓発
・デジタル技術(クラウド・オンラインコミュニケーションツール等)利用促進 など

市町村界を越えた生活圏の強化 ▶▶▶ 安心安全に暮らせる+α

2026年度重点プロジェクト「楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～」のKGIについて

※KGI (Key Goal Indicator : 重要目標達成指標。当該事業での成果の最終目標を、具体的な時期や数値で明確にし、定量的に評価する指標。)

1. KGIの選定にあたっての基本的な方針

- ・KGIはプロジェクトの最終目標（ゴール）であることから、1つとする。
- ・「東三河にお住まいの方が東三河に住み続けたいと思っているか」を明確に測ることができる指標を設定する。

2. KGI候補の選定について

「KGIは総括的な目標となりますので、例えば「地域への愛着」や「誇り」、「東三河への居住志向」といった定性的な指標も候補としてありうると考えます。」
(2025年度第1回ビジョン協議会(2025年8月29日)事務局説明)

- ➡ 2025年度は「東三河地域県民の意識調査」を実施しており、東三河地域県民の「地域への愛着」や「誇り」、「東三河への居住志向」などの現状値が把握できることから、KGIは「東三河地域県民の意識調査」における質問項目から選定することとしたい。

3. 「東三河地域県民の意識調査」における質問項目のうち、2026年度重点プロジェクトのKGI候補となりうる項目

- ①お住まいの地域への愛着度（感じる、やや感じる、あまり感じない、感じないの4段階で評価）
- ②お住まいの地域への誇りの度合い（感じる、やや感じる、あまり感じない、感じないの4段階で評価）
- ③東三河への居住志向（現在お住まいの市町村に住み続けたい、東三河地域の他の市町村に住みたい、東三河地域以外の愛知県内の市町村に住みたい、県外に住みたい、現在お住まいの市町村から一度転出するが、将来戻ってきたい の5つから1つ選択）

なお、住民の幸福感については「東三河振興ビジョン2030」の定性的指標とするため、2026年度重点プロジェクトのKGIの候補から除外する。

4. KGI (案)

- ・①～③のうち「東三河にお住まいの方が東三河に住み続けたいと思っているか」を最も明確に測ることができる項目は、③東三河への居住志向と考えられる。
- ・目標値については、「現在お住まいの市町村に住み続けたい」、「東三河地域の他の市町村に住みたい」の項目の回答割合を現状より増やすことが考えられる。

※「③東三河への居住志向」東三河地域県民の意識調査の結果と目標値(案)

	18-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-64歳		65歳以上		全年齢		目標値(案)
現在お住まいの市町村に住み続けたい	52.6%	63.1%	52.5%	65.0%	71.8%	80.4%	70.5%	80.3%	77.0%	85.9%	81.6%	87.3%	86.7%	92.2%	79.8%	87.0%	
東三河地域の他の市町村に住みたい	10.5%		12.5%		8.6%		9.8%		8.9%		5.7%		5.5%		7.2%		
東三河地域以外の愛知県内の市町村に住みたい	10.5%		13.1%		8.2%		6.4%		3.6%		5.2%		2.6%		4.4%		
県外に住みたい	0.0%		13.8%		9.8%		10.6%		8.6%		7.6%		4.7%		7.1%		
現在お住まいの市町村から一度転出するが、将来戻ってきたい	26.3%		8.1%		1.6%		2.7%		1.9%		0.0%		0.5%		1.5%		
計	99.9%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.1%		100.0%		100.0%		

- ・居住志向の無回答は除く
- ・四捨五入により回答割合の合計が100%にならない年代がある

- ・目標を達成するためには、特に18歳から49歳までの居住志向を高めるための施策展開が重要になる。
- ・「①地域への愛着度」や「②地域への誇りの度合い」は、重点プロジェクトの取組の効果をよりの確に測るための参考とする。

2026年度重点プロジェクト「楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～」のKPIについて

※KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標。目標の達成に向けた取組の進捗状況を定量的に測定するための指標。）

1. KPI設定の基本的な考え方

- ・進捗状況を確認するため、毎年調査を行うことができるKPIを地域課題ごとに1件設定する。

2. 2025年度第1回ビジョン協議会（2025年8月29日）におけるKPI候補の例示

「地域交通の確保」……運転手の就業者数 「空き家の活用」……空き家の利活用数 「農林水産業の振興」…就農者数

上記KPIの適正について

運転手の就業者数

- ・交通事業者にヒアリングした結果、運転手は複数地域で勤務することがあるため、東三河地域分の運転手を抽出することが困難であるとの見解を得た。
➡ 別のKPIを検討する。

空き家の利活用数

- ・市町村にヒアリングした結果、空き家の利活用数を把握することが困難な市町村があることが判明した。
（参考）令和5年住宅・土地統計調査にて、市町村別の空き家の数は調査されているが、人口が15,000人未満の自治体に関する情報はない。
➡ 別のKPIを検討する。

就農者数

- ・第1回ビジョン協議会で、出席者から「林業や漁業の就業者についても検討するよう」意見あり。

3. KPI及び目標値の案

「地域交通の確保」

KPI：鉄道・バス1日あたりの利用者数

目標値：令和6年度における1日あたりの東三河地域の鉄道・バス利用者数を維持

「空き家の活用」

KPI：「空き家バンク登録物件の成約件数」または「空き家バンク未登録空き家での利活用補助金の申請件数」（2026年度から2030年度までの5年間平均）

目標値：過去3年間（2023年度～2025年度）平均の数値を上回る

「農林水産業の振興」

①農業

KPI：新規就業者の確保数

目標値：東三河地域における新規就業者の確保数※1：370人※2

※1 5年間で就業した人のうち、評価年度において継続して就業している人数

※2 愛知県「食と緑の基本計画2030」の地区重点計画にて定められている東三河地域の数値（2030年度まで）

②漁業

KPI：新規就業者の確保数

目標値：東三河地域における新規就業者の確保数※1：25人※3

※1 5年間で就業した人のうち、評価年度において継続して就業している人数

※3 東三河地域における新規就業者の現状値（過去5年の平均就業者数）5人／年を目標値として、2030年度までの5年間で25人とした。

③林業

KPI：主伐・再造林面積

目標値：東三河地域における主伐・再造林面積：59ha※4

※4 愛知県「食と緑の基本計画2030」の地区重点計画にて定められている東三河地域の数値（2030年度まで）

2026年度重点プロジェクト「楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～」主な取組

①重点プロジェクトの取組における「東三河地域の独自性」についての考え方

- ・県全域で実施されている取組に加えて、本重点プロジェクトにて「東三河地域独自の取組」を実施することで、より充実した対策を図ることができる。
- ・優良事例の横展開が望めるものや事業の連携が期待されるものは、独自性があるとした。

②東三河の地域課題（地域交通の確保、空き家の活用、農林水産業の振興）解決に向けた取組一覧

地域課題	アプローチ	課題解決に向けた取組	取組主体
地域交通の確保	意欲ある人の創出	運転体験会や就業説明会の開催による運転士確保	県、市町村、民間
		公共交通利用促進イベントの開催	市町村、地域公共交通活性化推進協議会、民間
		「サイクルバス」の一般向け実証運行	市町村、民間
		タクシー事業者との連携推進	市町村
		交通事業者に向けた補助金による支援	市町村
	人に代わる力の導入や合理化	自動運転の導入促進	市町村、民間
		利用者増に向けた東三河MaaS「いこまい」に搭載するコンテンツの収集やPR	市町村、民間
バス運行形態の最適化		市町村、民間	
空き家の活用	意欲ある人の創出	空き家所有者に対するヒアリングや啓発	県、市町村
		空き家活用に取り組む地域住民組織に対する支援	県、市町村
		民間企業や専門団体との連携協定に基づく空き家の利活用や適正管理の推進	市町村、民間
		空き家活用を促進するための補助金による支援	市町村
	人に代わる力の導入や合理化	市街化調整区域における空家等活用の促進	市町村
		空き家解体業者の一括見積サービスの導入	市町村
農林水産業の振興	意欲ある人の創出	就業説明会等（就業説明会、現地説明会、バスツアー、イベント出展、情報発信）の開催	市町村、民間
		就業に向けた研修・指導、相談受付、就業計画作成支援、住居の斡旋	市町村
		事業承継に関するセミナーの開催	市町村
		農林水産事業者と農林水産以外の事業者との交流を通じたネットワーク構築の支援	県
		スタートアップや企業に向けた東三河地域の農業ポテンシャルPRやマッチング	県、市町村
		就業前、就業後における補助金による支援	市町村
	人に代わる力の導入や合理化	農地情報公開型GIS「未来の農地マップ」の利用促進	市町村
		IoTを活用した海洋データの収集分析による生産性の向上	市町村

③重点プロジェクトの土台である「意欲ある人の創出」や「人に代わる力の導入や合理化」を推進する取組

重点プロジェクトの土台	取組	取組主体
意欲ある人の創出	東三河県庁と愛知大学の連携講座の実施	県、大学
	地域外の人材を活用したい地元企業の掘り起こしと活用にあたっての伴走支援	県
	労働需要等に応じて複数の事業所で働くことができる就業環境の提供	県、市町村
	人材支援情報のウェブページの作成	県
	軽トラ市など地域を支える移動販売の担い手を創出する場の提供	民間、大学
人に代わる力の導入や合理化	デジタル技術の活用促進や啓発を目的とする官民ワーキンググループや大学生向けワークショップの開催	県、民間、大学